

下高ベスト16



2019年 (令和元年)
7月18日
木曜日

2点タイムリー2ベースを放った林統生選手 (渡邊琴美撮影)

18日、笠間市民球場で行われた下妻一高(以下下高)と境高(以下境)の試合は下高が8対3で勝利した。

1回裏、先頭打者を3塁に進めた下高は牧島陽樹選手(3年2組)のタイムリーにより1点を先制した。さらにランナー2・3塁とし、林統生選手(3年5組)が左中間を破る2点タイムリー2ベースを放ち、3点を奪った。2回、相手のスクイズにより1点を返されたものの、その裏三谷将平選手(3年4組、以下三谷選手)の犠牲フライにより1点を追加し、相手を突き放しにかかる。3回裏、山田啄也選手(2年7組)がバックスクリーンへのホームランを放った。

なお、このホームランは本大会において下高の第一号のホームランである。またこの回に相手のエラーにより1点を追加し、下高は境との差を大きく広げた。5回表、2アウトからミスと四球で満塁のピンチをむかえたが、

発行所
茨城県立下妻第一高等学校新聞部
発行人 吉田 俊則
編集人 稲葉 啓斗

号外

加藤孝太郎選手(3年7組、以下加藤選手)が三振を奪い、この回を無失点で切り抜けた。6回表、相手に2点を奪われ、さらにノーアウト1・2塁のピンチをむかえたが、加藤選手が相手のバントをノーバウンドで見事に捕球し、飛び出していたランナーは塁に戻りきれず、トリプルプレーを達成し、この回を終えた。7回裏、満塁のチャンスをつかえた下高は加藤選手の犠牲フライにより1点を奪った。8回裏、2・3塁にランナーを進めていた下高は三谷選手の犠牲フライにより1点をさらに加えた。終盤手堅く得点を加えた下高は境に5点差をつけて勝利した。

(稲葉啓斗)

◆天候不順のため、試合が順延していた3回戦を突破した下高の次の対戦相手は竜ヶ崎第一高等学校である。次の試合も笠間市民球場で20日の第2試合に行われる。

(館野果歩)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
境	0	1	0	0	0	2	0	0	0	3
下高	3	1	2	0	0	0	1	1	×	8